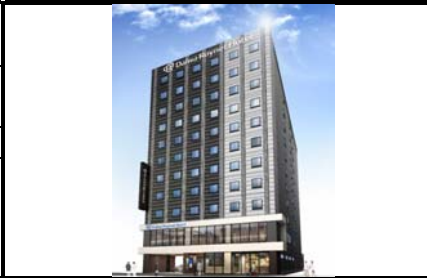


CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイワロイネットホテル小倉駅前新築工事	階数	地上11F
建設地	福岡県北九州市小倉北区魚町1丁目9番	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	470 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2014年10月3日
敷地面積	1,008 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	785 m ²	確認日	-
延床面積	6,079 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	ホテル運営上許される範囲での節電・節水を積極的に採用している。	
その他	-	
Q1 ■室内環境	Q2 ■サービス性能	Q3 ■室外環境 (敷地内)
外皮の断熱強化や複層ガラスの採用により外気負荷を軽減させ、室内環境の向上に配慮している。	建物全体のコンセプトや機能に配慮した内装計画とし、快適性の向上に配慮している。	設備機器は屋上階に集約し周囲からの見え方に配慮し、まちなみとの調和を図っている。
LR1 ■エネルギー	LR2 ■資源・マテリアル	LR3 ■敷地外環境
外皮の断熱強化や複層ガラスの採用により、外皮の熱負荷抑制に配慮している。また、LED照明の採用等により、一次エネルギー消費量の削減にも配慮している。	節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。	外皮の断熱強化や複層ガラスの採用、LED照明の採用等により、LCCO ₂ 排出量の低減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム) (建築物の環境効率)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい